

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●CBC賞はテイエムスパルダが中央競馬レコードで優勝

7月3日(日)の3回小倉2日・第11レースとして行われたCBC賞(GⅢ)ではテイエムスパルダ(牝3歳/栗東・五十嵐忠男厩舎)が優勝しました。勝ちタイムの1分5秒8は、昨年の同レースでファストフォースが記録した1分6秒0を更新する、芝1200mの中央競馬レコードタイムおよびコースレコード。また同馬の鞍上は本年デビューの今村聖奈騎手(栗東・寺島良厩舎)で、JRA重賞初騎乗初勝利を達成。グレード制が導入された1984年以降では、デビュー年のJRA重賞勝利は10人目、新人騎手によるJRA重賞初騎乗初勝利は4人目、女性騎手のJRA重賞勝利は3人目のこととなります。

### ●国枝栄調教師がJRA通算1000勝を達成

7月2日(土)の1回函館7日・第10レースとして行われた洞爺湖特別ではクライミングリリーが1着となり、同馬を管理する国枝栄調教師(美浦)は、史上15人目となるJRA通算1000勝(延べ8430頭目)を達成しました。

### ●レシステンシアが故障

2019年阪神ジュベナイルフィリーズ(GⅠ)などの勝ち馬レシステンシア(牝5歳/栗東・松下武士厩舎)は、左第1指骨剥離骨折を発症していることが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。

### ●メジロベイリーが死亡

6月28日(火)、メジロベイリー(牡24歳)が繋養先である青森県東北町のフォレブルーにて老衰のため死亡しました。同馬は2000年の朝日杯3歳S(GⅠ)を制するなどJRA通算7戦2勝の成績を残して引退。種牡馬としては中京記念2着のアルマディヴァンなどを出し、種牡馬からも引退後は公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル引退名馬繋養展示事業の助成対象馬として余生を送っていました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●ショウナンナデシコがスパーキングレディーCで重賞4連勝

スパーキングレディーC(JpnⅢ、7月6日、川崎、1600m)は、2番手から直線に入って間もなく先頭に立ったショウナンナデシコ(吉田隼人騎手、牝5歳、父オルフェーヴル)が、3番人気のレディバグの追撃をクビ差抑え、単勝1.3倍の圧倒的支持に応じて重賞4連勝を達成。逃げた2番人気のサルサディオオーネ(大井)は3着、レースブランシュは6着、キムケンドリームは最下位の10着でした。

### ●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドが盛岡で開幕

2022ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドは7月5日に盛岡で開幕し、第1戦は永野猛蔵騎手(美浦)、第2戦は及川烈騎手(浦和)が優勝しました。

### ●ジャパンダートダービー(大井)にハピ、ペイシャエスらが参戦

ジャパンダートダービー(JpnⅠ、3歳、7月13日、大井、2000m)は、ダートで3戦全勝のハピが最有力、以下ユニコーンSを制したペイシャエス、兵庫チャンピオンシップの勝ち馬ブリッツファンク、同2着のノットゥルノ、セキフウ、アイスジャイアントまでが争覇圏内と考えられ、芝のGⅢ優勝馬コマンドラインは初のダートが課題となりそうです。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1エクリプスS～仏ダービー馬ヴァデニが制す

現地7月2日にイギリスのサンダウン競馬場で行われたG1エクリプスS(3歳上、芝1900m)は、フランスから参戦のヴァデニ(牡3歳、父チャーチル、J.C.ルジェ厩舎)がC.スミヨン騎手を背に6頭立ての最後方からの追い込みを決めて優勝しました。仏ダービー、ドバイシーマクラシック、英インターナショナルSとG1・3勝のミシュリフは直線で前が塞がり、そこから外に持ち出されてよく伸びましたがクビ差の2着に終わりました。1960年のジャヴロ以来62年ぶりとなるフランス調教馬による優勝を果たしたヴァデニはこれで5月のG3ギッシュ賞(芝1800m)、6月のG1仏ダービー(芝2100m)に続いての重賞3連勝です。

### ●G1サンクルー大賞～アルピニスタがG1・4連勝

7月3日にフランスのサンクルー競馬場で行われたG1サンクルー大賞(4歳上、芝2400m)はイギリスから遠征したアルピニスタ(牝5歳、父フランケル、M.プレスコット厩舎)がL.モリス騎手を背に後方から差し切り勝ち。昨年8月のベルリン大賞、9月のオイロパ賞、11月のバイエルン大賞に続くG1・4連勝(全て芝2400m)とされています。